



農林水産省「稻
発酵粗飼料生
産・給与技術マ
ニュアル」に掲載
された農薬です。

いもち病、もみ枯細菌病も、 イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、 ニカメイチュウ、イネヒメハモグリバエ、 イナゴ類も、スッキリ解消!

新たな効き目で、いもち病をしっかり防ぐ!
優れた浸透移行性がもたらす長期予防で、
高品質な米づくりをサポートします。



側条施用
OK!

高密度
播種苗OK!

ツインキック® 箱粒剤
水稻用 殺虫殺菌剤

ツインキックは登録商標です
CYAZYPYR®は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です

powered by
C Y A Z Y P Y R ®
ACTIVE INGREDIENT

さらばいもち病!



トルプロカルブ
特設ページは
こちら!



ツインキック[®]

箱粒剤

水稻用 殺虫殺菌剤

■農林水産省登録:第24032号

■有効成分:

シアントラニリプロール…0.75%

トルプロカルブ…9.0%

■性状:類白色細粒

■人畜毒性(製剤):普通物*

*「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受ける物質を示す。

殺虫剤分類

28

殺菌剤分類

16.3

ツインキック箱粒剤の特長

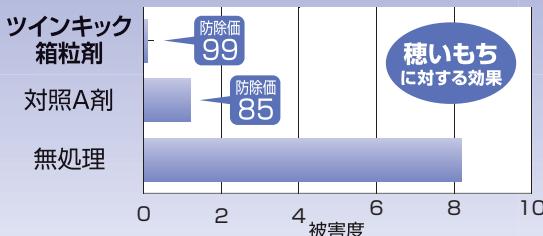
いもち病に2つの作用性

『メラニン生合成阻害 MBI-P』+『病害抵抗性誘導』
1成分で2つの作用機構を有する「トルプロカルブ」を配合!
新系統の効き目で、いもち病菌を強力にブロックします。

葉いもちから穂いもち、
もみ枯細菌病まで、
箱処理でカバー!

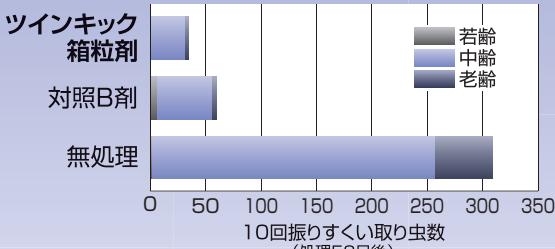
水稻初期害虫やニカメイチュウ、
イネヒメハモグリバエや
イナゴ類も、長期間抑える!

いもち病に対する効果



試験地:岡山県岡山市
イネ品種:こまる
試験設計:1区98m²(7m×14m)、1連制
薬剤処理:6/20(移植当日)に50g/箱を処理
調査方法:葉いもちは、7/28に1区3カ所から各30株の全葉の病斑数を調査
穂いもちは、9/28に1区3カ所から各20株の全穂数について発病程度別に調査し、被害度を算出
被害度=(a+b×0.66+c×0.26)×100/調査穂数
発病程度
a:穂首いもち発病穂数
b:枝梗1/3以上発病穂数
c:枝梗1/3未満発病穂数

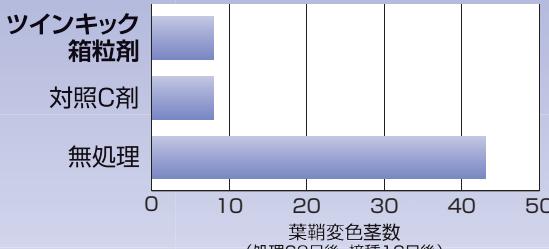
イナゴ類に対する効果



試験地:山形県鶴岡市
イネ品種:はえぬき
試験設計:1区130m²(10m×13m)、1連制
薬剤処理:5/16(移植当日)に50g/箱を処理

2016年 山形県農業総合研究センター 水田農業試験場

ニカメイチュウに対する効果



試験地:石川県鹿島郡中能登町
イネ品種:ゆめみづほ(早生)
試験設計:1区86.4m²(2.4m×36m)、
区内3カ所に各2列×11株の調査区域を設定

2016年 石川県植物防疫協会

適用病害虫と使用方法

2022年2月9日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	トルプロカルブを含む農薬の総使用回数
稻(箱育苗)	イネドロオイムシ イネミズヅウムシ ニカメイチュウ イネツトムシ、フタオビコヤガ いもち病、もみ枯細菌病 内穎褐変病、白葉枯病	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壤約5ℓ)1箱当たり50g	移植3日前～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	2回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での湛水散布、 無人航空機散布、 投げ入れは 合計1回以内)
	高密度には種する場合は 1kg/10a[育苗箱(30×60×3cm、 使用土壤約5ℓ)1箱当たり50~100g]						
	イナゴ類 イネヒメハモグリバエ	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壤約5ℓ)1箱当たり50g	移植当日				
稻	イネドロオイムシ イネミズヅウムシ、いもち病	1kg/10a	移植時	1回	側条施用	1回	

△使用上の注意事項

●本剤を育苗箱に処理する場合は、次の注意事項を守ってください。

- ①育苗箱(30×60×3cm、使用土壤約5ℓ)1箱当たりに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当たりの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- ②薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。

本製品は農業用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。本印刷物は2023年3月31日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

●空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

- ③本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植してください。育苗箱に高密度には種した場合は、とくに注意して葉に付着した薬剤を払い落としてください。
- ④葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布してください。

- 本剤を移植時に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用い、側条施用してください。
- 容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

△安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。



三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング

ホームページ <https://www.mc-croplifeso.com>

TWK1B01G